

2013年度連結決算及び2014年度業績予想(国際会計基準)

(単位: 億円)

損益の状況	2013年度実績	2012年度実績	前年度比		2014年度業績予想		2013年度対比
				増減率(%)			
売上高(*1)	136,335	106,744	29,591	28%	143,000	6,665	
売上総利益	6,511	5,396	1,114	21%	7,200	689	
販売費及び一般管理費	▲4,908	▲4,091	▲817	-	▲5,400	-	
貸倒引当金繰入額	▲28	▲21	▲6	-	▲50	-	
営業利益(*1)	1,575	1,284	290	23%	1,750	175	
支払利息(受取利息控除後)	▲221	▲182	▲39	-	▲300	-	
受取配当金	349	302	48	-	300	-	
有価証券損益	141	▲27	168	-	150	-	
固定資産損益	▲415	▲603	188	-	150	-	
その他の損益	▲59	▲32	▲27	-	-	-	
持分法による投資損益	994	830	164	-	1,100	-	
税引前利益	2,364	1,573	791	50%	3,000	636	
法人所得税	▲231	▲227	▲3	-	▲700	-	
当期利益	2,133	1,345	788	59%	2,300	167	
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,109	1,301	808	62%	2,200	91	
非支配持分に帰属する当期利益	23	44	▲20	-	100	-	
収 益	70,557	48,960	21,597	44%			
実態営業利益(*2)	1,602	1,305	297	23%	1,800	198	
基礎収益(*3)	2,725	2,255	469	21%	2,900	175	

(*1) 「売上高」は、取引形態の如何にかかわらず当社及び連結子会社の関与する全ての取引を含んでおります。
「売上高」及び「営業利益」は、投資家の便宜を考慮し、日本の会計慣行に従った自主的な表示であり、IFRSで求められている表示ではありません。
(*2) 実態営業利益=売上総利益+販売費及び一般管理費
(*3) 基礎収益=実態営業利益+支払利息(受取利息控除後)+受取配当金+持分法による投資損益

資産、負債及び資本の状況	2014年3月末	2013年3月末(*5)	前年度末比	2015年3月末予想
連結総資産	72,554	61,158	11,396	-
(流動資産)	(33,110)	(31,744)	(1,366)	-
(非流動資産)	(39,444)	(29,414)	(10,030)	-
連結総資本	15,332	12,030	3,302	16,500程度
連結有利子負債	31,824	27,536	4,287	-
連結ネット有利子負債	24,910	18,559	6,351	27,000程度
ネットDEレシオ(*4)	1.62倍	1.54倍	+0.08ポイント	1.6倍程度

(*4) ネットDEレシオ=連結ネット有利子負債/連結資本
(*5) 2013年3月末の計数は、新会計基準適用後の計数に修正再表示しております。

キャッシュ・フローの状況	2013年度実績	2012年度実績	主要指標の推移			2014年度前提
			2013年度実績	2012年度実績	変動幅(変動率)	
営業活動によるCF	2,912	2,401	100.24	83.10	17.14円(21%)の円安	100
投資活動によるCF	▲7,066	▲1,928	102.92	94.05	8.87円(9%)の円安	100
フリーキャッシュ・フロー	▲4,154	473	0.225	0.317	0.092%(29%)の低下	0.2
財務活動によるCF	1,968	1,116	0.253	0.374	0.121%(32%)の低下	0.4
為替変動の影響	185	429	99	92	7ドル(8%)の上昇	100
現金及び現金同等物の増減	▲2,001	2,017	7,103	7,853	750ドル(10%)の下落	6,800

連結対象会社 黒字/赤字の状況	2013年度実績		2012年度実績		前年度比	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
黒字会社数	355	123	232	343	116	227
黒字額	2,684	782	1,902	1,988	593	1,395
赤字会社数	98	39	59	98	25	73
赤字額	▲672	▲191	▲482	▲678	▲122	▲556
会社数合計	453	162	291	441	141	300
ネット損益	2,012	591	1,420	1,311	471	840
黒字会社数比率	78.4%	75.9%	79.7%	77.8%	82.3%	75.7%

2013年度連結決算の概要	
【連結決算の概要】	
○ 当連結会計年度の親会社の所有者に帰属する当期利益は、エネルギー、海外支店・現地法人セグメントの増益を主因に、前年度比808億円(62%)増益の2,109億円となり、史上最高益を更新した。	⑤支払利息(受取利息控除後)・・・▲221億円 前年度比39億円の悪化となった。
○ 連結資本は、利益の積み上げ及び円安による在外営業活動体の換算差額の増加を主因に、前年度末比3,302億円増加の1兆5,332億円となった。	⑥受取配当金・・・349億円 エネルギー案件を中心に前年度比48億円の増加となった。
○ 連結ネット有利子負債は、新規投資の実行により、前年度末比6,351億円増加の2兆4,910億円となり、この結果、ネットDEレシオは前年度末比0.08ポイント上昇の1.62倍となった。	⑦有価証券損益・・・141億円 有価証券評価損益の改善を主因として、前年度比168億円の改善となった。
○ 2013年度の年間配当金は、親会社の所有者に帰属する当期利益が2,109億円となったことから、連結配当性向20%以上とする配当方針に基づき26円(中間配当金12.5円実施済み、期末配当金12.5円)とする予定。	⑧固定資産損益・・・▲415億円 エネルギー案件での減損損失を主因に▲415億円となったものの、前年度比188億円の改善となった。 ・固定資産評価損 ▲435億円(前年度比 +178億円) ・固定資産売却損 20億円(前年度比 +9億円)
【損益の状況】	
①売上高・・・13兆6,335億円 穀物の取扱数量増加を主因として、前年度比2兆9,591億円の増収となった。円安の影響は1兆400億円程度の増収。主な増収セグメントは食料(+1兆7,630億円)、海外支店・現地法人(+6,890億円)。	⑨その他の損益・・・▲59億円 前年度比27億円の悪化となった。
②売上総利益・・・6,511億円 前年度比1,114億円の増益となった。円安の影響は450億円程度の増益。下表参照。	⑩持分法による投資損益・・・994億円 持分法による投資損益は前年度比164億円の増益となった。 主な内訳は以下の通り。 チリ銅事業 181億円(前年度比 +7億円) 伊藤忠丸紅鉄鋼 133億円(前年度比 +23億円) 豪州鉄鉱石事業 72億円(前年度比 +73億円) Westlake 42億円(前年度比 +13億円) (米国自動車販売金融事業) JELLINBAH GROUP 39億円(前年度比 ▲9億円) (豪州石炭事業)
③販売費及び一般管理費・・・▲4,908億円 人件費を中心に前年度比817億円の増加となった。円安の影響は310億円程度の増加。	
④貸倒引当金繰入額・・・▲28億円 前年度比6億円の増加となった。	

オペレーティング・セグメントの状況	売上総利益			親会社の所有者に帰属する当期利益			主な増減要因	親会社の所有者に帰属する当期利益 2014年度業績予想
	2013年度	2012年度	増減	2013年度	2012年度	増減		
食料	1,476	994	482	183	178	5	Gavilonの新規連結、親会社及び子会社での穀物の取扱数量増加及び穀物取引の採算改善等により、売上総利益、当期利益ともに増益。	350
化学品	284	266	18	64	52	12	肥料原料、液晶パネル製造装置及び太陽光モジュールの取扱数量増加等により、売上総利益が増益となったことに加え、法人税負担の改善等により、当期利益は増益。	110
エネルギー	498	536	▲38	365	45	320	石油・ガス開発分野での生産量減少等により、売上総利益は減益となったものの、持分法による投資損益の改善及び固定資産の減損損失等の減少により、当期利益は増益。	480
金属	156	189	▲33	203	198	5	石炭価格の下落による売上総利益の減益に加え、海外石炭事業での減損損失により持分法による投資損益も減益となったが、固定資産増益及び法人税負担の改善等により、当期利益は増益。	90
輸送機	661	529	131	233	179	54	自動車関連海外事業の増益及び新規投資事業の寄与により、売上総利益が増益となったことに加え、航空機リース及び自動車販売金融事業等の持分法による投資損益の増益により、当期利益は増益。	240
電力・インフラ	266	254	12	272	235	37	海外案件における一過性の損失があったものの、新規案件の持分法による投資損益の増益により、当期利益は増益。	270
プラント・産業機械	354	256	99	103	71	32	繊維プラント関連案件における増益等により、売上総利益、当期利益ともに増益。	90
ライフスタイル・紙パルプ	583	571	11	72	65	7	親会社でのゴム製品等の取扱数量増加に加え、子会社での建材、資材等の取扱数量増加等により、売上総利益が増益となったことに加え、持分法による投資損益の改善により、当期利益は増益。	110
情報・金融・不動産	881	703	178	157	117	41	MXモバイリングの新規連結により、売上総利益が増益となったことに加え、有価証券損益の増益等により、当期利益は増益。	190
海外支店・現地法人	1,505	1,169	336	253	129	124	丸紅米国会社の増益及び円安の影響等により、売上総利益、当期利益ともに増益。	280
全社及び消去等	▲153	▲71	▲82	204	32	171	金利収支及び法人税負担の改善等により、当期利益は増益。	▲10
連結合計	6,511	5,396	1,114	2,109	1,301	808		2,200

2014年度業績予想の概要	
◎ 2014年度の連結業績予想(親会社の所有者に帰属する当期利益)は2,200億円の見通し。	
◎ 2014年度の年間配当金は、親会社の所有者に帰属する当期利益を2,200億円と予想していることから、連結配当性向を20%以上とする配当方針に基づき、26円(内、中間配当金13円)とする予定。	